

院内感染対策ニュース

第 38 号

平成 28 年 10 月 19 日 院内感染対策委員会

釧路管内でヘルパンギーナが流行中！どんな病気かご存知ですか？

ヘルパンギーナという病気を聞いたことがありますか？最近、釧路管内のみならず北海道で流行している小児が主にかかる病気です。ウイルスが原因のこの病気は子供が感染すると親にも拡がる可能性があります。今回は釧路管内で流行しているヘルパンギーナについてお話しします。

■ ヘルパンギーナとは？

ヘルパンギーナはコクサッキーウイルスまたはエンテロウイルスが原因の感染症です。主に「夏風邪」と呼ばれ乳幼児の代表的な感染症です。夏から秋にかけて流行し、突然の発熱（39 度以上）口の中に水疱と発疹が出現するのが特徴です。同じウイルスの感染症でも「手足口病」は手や足にも発疹が出現し発熱は少ないと言われています。まれに大人も感染することがあります。

手足口病とヘルパンギーナのちがい

	手足口病	ヘルパンギーナ
流行時期	夏	夏
主な症状	・ 37～38 度の熱 ・ 発疹 (手のひらや足、口の中など全身に広がる)	38 度～40 度の高熱 ・ 発疹 (口の中にできる)

■ 感染経路は？

経口、飛沫、接触感染と言われています。治った後もウイルスが便中から 3～4 週間排泄されます。

■ 釧路管内の流行状況は？

7 月後半から増加し 9 月に入り少し減少していますが依然として多い状況となっています。釧路保健所への報告数全道・全国から見てもかなり多くなっています。保健所の HP で発生状況を見ることができます。

■ 感染対策

子供は接触感染対策、大人は標準予防策で対応します。7 日以内に完治するので療養中は水分と栄養補給しましょう。感染拡大防止には手指衛生の徹底（手洗い・手指消毒）です。お子さんが罹患している場合は保育所や幼稚園への登園は医師の判断になります。受診した際に必ず医師に確認をして下さい。



感染対策の基本は手をきれいにすることです。これからインフルエンザや感染性胃腸炎が流行する季節になります。手洗い・アルコール消毒があなたを感染症から守る手助けとなります。患者さんや自分を守るために手指衛生（手洗い・手指消毒）をしっかりと行いましょう！！